こもれび VOL.15

だれもが快適なまちにしよう！

「みんなが出かけるきっかけに」
―NPO法人 ドリームシップ―

車いすアクセスマップ作り、グループ活動、地域交流など、障害者の自立を目標に、幅広く活動しているNPO法人ドリームシップ。電動車いすで一人でどこにでも出かけていくという、理事長の井口大策さんにお話をうかがいました。

「ここは楽しいよ、と紹介しても、実際には外に出るだけでイベントになっている人も多いんですよ」と井口さん。整備されてきたとはいえ、車いす利用者にとって不便な場所も多く、その大変さから出かけなくなっている人も多いのだそうです。

「確かに車いすで出かけるのは大変なこともあるけど、外に出かけて、障害者とか健常者とか分け隔てなく、いろんな人と接した方がおもしろい。身体が動かないから、とか、家族が、とか言う人がいるけれど、自分で決めてどんどん出かけていけばいいんです。失敗しても痛いのは自分なんだから」

笑って話されますが、井口さん自身、車輪が溝にはまったり、車いすで転んだこともあるそうです。

◀豊玉小での交流授業の様子

「失敗も必要なんです。出かけていけば、臨機応変さを身につけられる。みんなにも施設整備の必要性がわかってもらえる。僕にとっては車いすが普通。不自由でも、可哀想でもないんです。車いすで出かけたら迷惑をかけるという人もいるけど、誰だって人のお世話になってるでしょ」

明るく語る井口さんですが、「全部電車で移動しているので、駅がバリアフリー化されて相当楽になりました。仕方ないとは思っていても、やっぱり駅員さんに悪いと思って行けなくなったり」していたそうです。気兼ねなく出かけられる環境づくりには、施設はもちろん、見えないバリアを取り除くことも重要なようです。「僕たちの活動がみんなが出かけるきっかけになってくれたら」という井口さん。ドリームシップは、名前の通り、「まちの風景の中に当たり前のように車いすの人がいるようになったら」という夢に向かって、「やりたいことを一つずつ一つずつくりと」進んでいるようです。

理事長の井口大策さん▶

グループ活動

障害のある人もない人も、自由に来て自由に過ごすフリースペース。「何をやるか自分たちで考えることが基本です。なので、介助者の人もボランティアではなく、参加者として来てもらいたい」そうです。

日時：毎週水曜日10時～16時
場所：光が丘区民センター 2階洋室

車いすアクセスマップ

野球場、遊園地、博物館、デパートなどに出かけ、トイレの場所や行き方、不便な所などをまとめてホームページで発表しています。

「これまで自分たちが行きたいところに行ってきたけれど、今後は違う観点でみてもおもしろいと思ってます」

介護支援

NPO法人(特定非営利活動法人)にしたきっかけは、メンバーの一人が一人暮らしを始めたからだそう。

「どうせ介助者を頼むなら、自分たちで頼める方がいいよね、という話になって、それには介護支援できる事業所を作らなくては、ということになってNPOにしました。来年頃には、介護支援活動を開始したいと思っています」

地域交流

小学校や障害者施設などで行なっている地域との交流活動。

「小学校の交流授業では、風船バレーをした後に話をしたら、よく聞いてくれたし質問もたくさん出ました。これからも出かけてけたらいいと思っています」

問合せ
NPO法人 ドリームシップ
ホームページ：http://www.ne.jp/asahi/dream/ship/
住所：練馬区東大泉６－54－19 大泉グリーンハイツ101 ☎3867－6541

助成を受けて、バリアフリー化！
―ライオンズマンション豊島園―

昨年、共有部分の大規模改修工事と合わせて、区の助成制度を使って玄関前をバリアフリー化したライオンズマンション豊島園。以前より玄関部分を低くして段差を減らし、スロープを作り、手すりをつけ、開き戸だった入口を自動ドアに替えました。

「それまで、かなり段差があったので、車いすやベビーカーを使う方は大変でした。だから、改修して便利になったとみなさん喜んでいます」と管理人の方。いろんな方が住む共同住宅だからこそ、バリアフリー化してあるといいですね。

練馬区福祉のまちづくり整備助成

建物のバリアフリー化工事にかかる費用の一部を助成しています。

対象となる建築物は？
診療所、店舗、共同住宅などの公共的建築物です。

助成金はいくらまで？
バリアフリー整備に要した経費の２分の１を助成します。(限度額300万円)

助成対象はなに？
自動ドア、エレベーター、スロープ、手すり、車いすトイレなどです。

助成金を受けるには？
申請は整備工事着手前になりますので、お早めにご相談ください。

問合せ 練馬区建築調整課福祉のまちづくり担当 ☎3993－1111(代)

福祉のまちづくり総合計画策定

策定委員会
普及・参画部会
普及活動や情報共有などの検討
道路・公園・駅部会
公平・平等に出かけられるようにバリアフリーの検討
建築部会
使いやすい建築物のバリアフリーや利用法などソフト面も検討
くらし部会
安全に安心して暮らせるように日常生活の課題について検討

平成16年度
フィールドワーク中心の課題発見と方針検討
★スタートアップセミナー
★スタートアップワークショップ
★部会活動
★ニュースレターの発行
★経過報告会

福祉のまちづくりの方針案の作成

平成17年度
福祉のまちづくりの方針と協働活動（アクションプラン）の提案
福祉のまちづくり総合計画案作成
協働活動（アクションプラン）の実施

福祉のまちづくり総合計画決定

問合せ 練馬区障害者課 計画推進担当 ☎3993－1111(代)

区民と一緒に検討中！
―練馬区福祉のまちづくり総合計画―

◀道路・公園・駅部会で行われた現場見学会の様子

練馬区で進めている、障害の有無や年齢にかかわらず、誰もが安心して社会参加できる「福祉のまちづくり」。その指針となる「福祉のまちづくり総合計画」を作るため、障害のある方を含めた区民の方が調査や検討に参加されています。今回、取材に協力してくださった佐々木孝一さんもその一人。いつも車いすで積極的にまちに出かけているそうです。

「自分たちの生活しているまちが、自分たちにとって使いやすくなっていけば」という思いで応募したという佐々木さん。「子どもやお年寄りが安心して歩けて、途中にベンチやトイレがいくつもある、そんな散歩道があるといいと思うんです。そうすれば、みんな積極的に外にでかけるし、地域とつながりができますから」と考えを話してくれました。

「新しくつくるものには、設計や審査の段階から考えてもらいたい。道路に自転車やゴミ袋を出している家を見かけるけれど、建てるときにあらかじめ場所を考えておく必要があると思うんです。そういうことにも目をむけていく雰囲気を作らないと」と、まちづくりに対する意見も次々と出てきました。

区民の方が計画作りに参加されることについて、練馬区の担当者に聞きました。

「福祉のまちづくりは、利用者の立場にたってすすめることが大切です。区民の方と一緒に考え、調査検討するなかで、区の役割と区民の役割が明確になっていきます。それを計画づくりに生かしていきたいと思います」

区民にとって大切な計画だからこそ、区民の声がかかせないのですね。

区民情報ひろば、石神井庁舎、各出張所で配布中
◀検討の経過がわかるニュースレター

公募区民として参加している佐々木孝一さん▶

ねりまの駅めぐり 15駅目
上石神井駅 西武新宿線
次は 氷川台駅

武蔵野の面影残す上石神井エリア はかつて水車の回る田園地帯。 千川上水沿いには懐かしい練馬の 農村風景が広がります。

会津八一ゆかりの寺

駅南口から西へ5分ほど歩いて、歌人で書家の会津八一（一八八一～一九五六）の歌碑と墓石のある浄土真宗信願山**法融寺**①を訪ねました。

独特の歌風で知られる会津八一は、東洋美術にも造詣が深く、古都奈良を詠んだ歌集「鹿鳴集」は若き日の人気を博し、歌集を手に奈良を旅することが流行となった時期もありました。法融寺の本堂脇には、武蔵野のもの寂しい風景を詠んだ「むさしのの くさにとばしる むらさめの いやしくしくに くるるあきかな」の歌碑が建ち、また境内奥には故郷新潟市から分骨された八一の墓があります。

静かな佇まいの境内は、八一ゆかりの寺らしい風情を感じさせます。

●法融寺（関町東1の4）

▶会津八一が描いたスズキの絵が刻まれた歌碑

よみがえった千川上水のせせらぎ

法融寺から南へ、青梅街道を越えるとすぐに、**千川上水**②の流れが目の前に現れます。千川上水は元禄9年（一六九六）に玉川上水から分水され、江戸市中の飲料水や流域の灌漑用水として大きな役割を果たしました。その後、道路整備のため暗渠化され、千川通りに姿を変えました。しかし、失われた自然の復活を求める地域の声が高まり、平成元年（一九八九）に上流部に清流がよみがえりました。鯉が泳ぎ、キャベツ畑が広がるのどかな水辺空間を、いつまでも大切にしていきたいですね。

▲せせらぎの音が聞こえる上水沿いは散策路になっています（関町南～立野町）

いつでもちひろの絵に会える場所

少し足を延ばして、駅北口からタウンサイクルに乗って、下石神井の**ちひろ美術館**③を訪ねました。閑静な住宅街にある赤レンガ色の美術館は、子供を生涯のテーマとして描き続けた絵本画家いわさきちひろ（一九一八～一九七四）が、亡くなるまでの22年間を過ごした自宅跡に建っています。

●ちひろ美術館・東京
（下石神井４の７の２）
西武新宿線上井草駅下車７分

開館時間 10時～17時（GW・8/10～8/20は18時）
休館日 月曜日（祝日の時は翌日）、年末年始（12/28～1/1）、冬期休暇（2/1～末日）
入館料 大人800円、中・高校生500円、小学生300円（団体・障害者・65歳以上・学生の方は100円引、視聴覚障害の方は半額）
問合せ ☎（3995）0612

▲多目的ホールでは映画や音楽会、講演会も開催

▲▶カフェやミュージアムショップだけの利用もできます

▲子供連れにはうれしい授乳室完備のこどものへや

「おふろでちゃぷちゃぷ」「ことりのくるひ」「戦火のなかの子どもたち」など、数々の作品がこの下石神井の自宅から生まれました。ちひろと「そこに行けばいつでもちひろの絵に会える場所を作ってほしい」という多くの声に応えて、没後3年目の1977年に「いわさきちひろ絵本美術館」が開設されました。

その後、開館25周年にあたる2002年秋には、公開スペースが2倍の全館バリアフリーの明るい建物に生まれ変わり、車いすの方やお年寄りはもちろん、赤ちゃんや子供連れの方など、誰もが楽しめる美術館になっています。

展示室

アトリエ

ちひろの庭

●ちひろの思い出が溢れる館内
ちひろ愛用のソファに座って作品が鑑賞できる展示室や、生前そのままに復元されたアトリエ、ちひろが愛した草花が咲く「ちひろの庭」など

展示案内

12月１日(水)～2005年１月30日(日)

●一虹色の軌跡―ちひろの色彩
虹色をテーマににじみやぼかしなど、ちひろの水彩画技法を紹介します。

●<企画展>
地球―ぼくらの大地
長倉洋海写真展
紛争地や辺境地を中心に、世界の子供たちの写真を紹介します。

※詳細はお問い合わせください

ちひろ美術館副館長の松本由理子さんにお話を伺いました。「没後30年を迎えた今もなお、ちひろの絵は多くの人たちに愛され続けています。きっと、絵の中の子供に自分の子供時代や幼い頃の娘や息子、可愛い孫の姿を重ねているのかもしれませんね。青春時代に戦争を体験したちひろは、絵を通して平和の大切さを語り続けてきました。未来ある小さな命のかけがえのなさやそうしたちひろの〝心の原点〟がここにはあります。不安な現代だからこそ、ちひろの絵が求められているのかもしれません。世代や性別を超えて沢山の人たちに見に来ていただきたいと思います」

▲「赤い毛糸帽の少女」 没後30年特別展<わたしが選んだちひろ展>第１位の作品(2004年9～11月開催)

館内を案内して下さったスタッフの阿部恵さんは、「9300点を超えるちひろ作品や収蔵品を中心とした世界の絵本画家の作品展のほか、様々なジャンルのアーティストを企画展で紹介しています。2ケ月ごとにテーマが変わるので、いつ来ても色々なちひろが見られます」と話されていました。ちひろ美術館で心なごむ一日、ちひろの世界を過ごしてみてはいかがですか。

イラストになった練馬の風景と虫たち

ちひろ美術館からの帰路、上石神井小学校前の雑貨の店**りらっくす・ショップ・オアシス**④に立寄りました。オアシスでは、今秋「練馬区にちなんだ商品」に選ばれた**練馬の風景と虫たち**のポストカードを販売しています。このポストカードは、光が丘在住のイラストレーター矢口由美子さんが、区内の公園風景と共にそこに生息する虫たちを水彩色鉛筆で描いたものです。

「虫が嫌いな子、苦手な子にも〝虫ってかわいい〟と興味をもって貰いたくて描き始めました」という矢口さん。実は大の虫嫌いだったそう。虫を描くきっかけは昆虫好きの2人の息子さんの影響から。今では作品作りの良きアドバイザーだそうです。12月初めには、来年の干支のトリと冬ごもりの虫の絵を発売予定です。

オーナーの山本さよみさんは、「矢口さんの絵をじっと見ていると、虫がかわいく見えてくるから不思議です。身近な公園の風景や虫のスケッチなので、親しみを持って買っていただけるのだと思います」と話します。

練馬の自然を描いた可愛いポストカードで季節の便りをしてみませんか。

★上石神井タウンサイクルは、当日利用４時間まで100円です。
問合せ ☎（5991）8225

●りらっくす・ショップ オアシス
（上石神井４の３の１２）
上石神井駅北口５分
営業時間 11時～19時
定休日 日曜・祝日
問合せ （5991）1736

▲色鮮やかなポストカードは現在42種類。1枚100円で販売しています

インプラント 人工歯 専門研究所 併設
●日曜診療＊夜間診療●
（平日は夜9:00まで日曜は午後2:00まで診療）忙しい方にも対応しております。
診療時間

診療時間＼曜日	日	月	火	水	木	金	土
10:00～14:00	○	○	○	休診	○	○	○
16:00～21:00	休診	○	○	休診	○	○	○

休診日＊水曜日・祝日
◆院長プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部卒業・インプラント科・補綴科・審査外来出身
◆副院長プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部卒業・保存科・ムシ歯外来出身
◆矯正医プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部矯正科出身・矯正指導医・認定医
吉田デンタルオフィス
東京医科歯科大学附属病院提携歯科医院
＊一般歯科＊矯正＊口腔外科＊インプラント＊入れ歯＊ホワイトニング相談＊
さ こ こ に は は は 歯
各種保険取扱い Tel.03-3992-8888
練馬区豊玉北6-3-7USビル2F ＊練馬区役所ソバ＊

広告募集
◆掲載料 ４面１コマにつき 15,750円(消費税込)
◆サイズ 縦42ミリ×横80ミリ
※広告料等詳細については、(財)練馬区都市整備公社こもれび編集室までお問い合わせ下さい。
☎（3993）8011

パズルの正解 前号（こもれび第14号）の特集「ねりまの道路」で募集した「パズルに挑戦!」の正解を発表します。

ネ リ マ ノ マ チ ヅ ク リ

ご応募ありがとうございました。正解者には粗品をお送りいたしました。これからも「こもれび」をよろしくお願いいたします。

★こもれび読者プレゼント

いわさきちひろ2005年カレンダー ちひろ美術館招待券 をさしあげます！

「こもれび」をご覧になった感想をお聞かせください。ご応募された方の中から抽選で、**ちひろ美術館提供の「いわさきちひろ2005年カレンダー」**（A２判）を**２名様**に、**「ちひろ美術館」のペア招待券**を**５組10名様**にさしあげます。

応募方法 ①住所、②氏名、③希望の品、④「こもれび」の感想、⑤「こもれび」を手に入れた場所を書いてハガキまたはファクスでご応募ください。 締切日：12月20日(月)消印有効
※当選発表は、発送を持って代えさせていただきます。

あて先 〒176-8501 練馬区豊玉北６-12-１
財練馬区都市整備公社 こもれび編集室
FAX（3993）8070